

学芸会

最後まで みんなの思い 届けよう

市渡小学校

10月14日(土)、「学芸会」を実施しました。今年度は、参観の人数制限をなくし、たくさんのお客様の方々を観ていただくことができました。2学期がスタートしてから、少しずつ練習を重ね、学芸会特別日課を経て、各学年が趣向を凝らした楽しい発表をしました。

1年生は、カスタネットを使ったリズム打ち、合唱、器楽合奏を披露しました。「はじめの言葉」では音楽に合わせて、ゆかいな振り付けで踊りながら発表しました。

2年生は、教科書にも載っている「アレクサンダとぜんまいねずみ」の物語を劇で発表しました。身振り手振りを交え、ゆっくりはつきり大きな声で、4人という少ない人数を感じさせない堂々とした演技を披露しました。

3年生は、初めてのリコーダーでの合奏、手話の振り付けをしながらの合唱、跳び箱など得意なことの個人発表、器楽合奏と、盛りだくさんの内容でした。

一人一人が自分の役割に責任をもち、

それぞれの持ち味を生かした発表をすることができました。

4・5年生は、ジブリの世界をリコーダーや合唱、器楽合奏で表現しました。「カントリーロード」をアレンジした合唱とともに、これまでの学校生活を動画で紹介したり、全員の音と気持ちを合わせて演奏したりすることができました。

6年生は、「まねし小僧」という劇を発表しました。コミカルな演技で笑いを誘いつつ、自分がされて嫌なことはしないことや、相手を思いやることの大切さを伝えました。「おわりの言葉」では、各学年の発表を振り返り、観てくださった方々に最高学年としてお礼の挨拶をしました。

学芸会の取組を通じて、子どもたちは互いの努力を認め合ったり、協力したりすることのよさを味わい、更に自分自身を成長させたいという気持ちを強くしていました。これからも学校は、子どもたちの成長を支える教育活動を充実させていきたいと考えています。



1年生の発表
「はじめの言葉」



2年生の発表
「アレクサンダとぜんまいねずみ」



3年生の発表
「せいじゃの行進」



4・5年生の発表
「いつも何度でも」



6年生の発表
「まねし小僧」

(市渡小学校 教諭 塚原 智子)